

会員生協の活動報告 & 予定案内

福井県民生協

越前市との包括的地域連携協定締結と フードドライブに取り組みました

県民せいきょうではSDGsをテーマにして越前市との包括的地域連携協定を9月16日締結しました。南越前町、鯖江市に次いで3自治体目となります。協定項目は「SDGs推進」「女性活躍」「多文化共生」「高齢者福祉」「子供の健全育成」「地域福祉」「エシカル消費」「環境保全」など12項目。

市長との懇談では、子ども食堂や学習支援を通じて子どもの貧困の連鎖をなくすことや、越前市は日系ブラジル人など外国人の割合が福井県内で最も高いことから、多文化共生の取り組みが大切となっていることなどの話し合いがされました。

10月16日(金)～18日(日)には、ハーツたけふでフードドライブ(絵本ドライブも同時開催)の共同企画を行い、3日間で組合員、地域の皆さんから674点、お米300kgと多くの食品と112冊の絵本が寄せられました。組合員の

協力を得て点検・整理を行い、越前市社会福祉協議会を通じて、越前市内の子ども食堂や学習支援団体など必要としている団体に提供しました。

これからも誰ひとり取り残さないSDGsの理念のもと、自治体や地域の団体と連携協力して、事業と活動を通じて持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいきます。

12月11日(金)～13日(日)には、ハーツ10店舗と大野・勝山きらめきの介護施設で、フードドライブの取り組みを実施していきます。皆様のご協力をお願いします。



越前市と福井県民生協同組合との包括的地域連携に関する協定締結式



組合員役員も交えて懇談しました



フードドライブ初日は、越前市のマスコットきくりんも一緒に呼びかけました



組合員も受け取りや整理に協力いただきました

福井県医療生協

みんなで「健康習慣」を広げるチャンス あなたも「健康チャレンジ」に参加を



福井県医療生協では、10月～12月の間に健康習慣を広げる機会として「健康チャレンジ」を本年も取り組みます。コロナ禍の中でうがい、手洗い、体温測定などのドクターおすすめコースを始め多彩なコースから独自のオリジナルコースまで。2か月取り組むことを「健康づくり委員会」の各委員が呼びかけています。各ブロック、支部で励まし合いながら取り組みましょう!

今年の健康チャレンジは、感染症予防を意識した健康づくりを提案し、各専門職員からオススメの項目を教えてくださいました。

ぜひ私たちと一緒に健康チャレンジに取り組みましょう!



ふくいの生協

福井県生活協同組合連合会

〒910-0842 福井市開発5丁目1603番地(県民生協本部センター内)

TEL0776-52-8815 FAX0776-52-2050 Eメールアドレス kenren@fukuicoop.or.jp

2020年11月20日 No.129

<http://www.fukui.coop/kenren/>

福井県生協連合会

検索

第24回 Let's clean the coast! 海岸クリーンアップ ボランティア活動報告

232名の方が参加

24回目となった海岸クリーンアップは、9月5日(土)が鷹巣海水浴場で、9月12日(土)が三国サンセットビーチで行われました。台風の接近で天候が心配されましたが、両日も青空が広がる好天で残暑厳しく、体調に気を付けて活動いただくよう、呼びかけながらの実施となりました。

今年度も多くの方にご協力いただき、両会場合わせて232名の方がご参加くださいました。

毎年続けてご参加いただく企業や団体に加え、初めてお越くださった方も増え、ボランティアの輪がひろがり定着していることを実感し、ありがたく思っております。

まだまだ世の中はコロナ禍の下にあります。自然は変わらずそこにあり、多くの恵を与えてくれます。ボランティア活動の広がりを通して、美しい環境を守り未来へ引き継いでいきたいと思ひます。



ご参加の皆様、
ありがとうございます。
ございました。

会場	人数	燃えるごみ	燃えないごみ
鷹巣(9/7)	76名	25袋	12袋
三国(9/14)	156名	45袋	5袋
合計	232名	70袋	17袋

「生協ボランティア月間」が始まります。

2020年11月15日～2021年2月15日



福井県内生協ボランティア活動の一環として今年も「生協ボランティア月間」に取り組みます。古切手、書き損じ葉書、外国コイン、ヘルマークを集めますので、ご協力ください。集まった収集物は福井県ボランティアセンターなどを通じて、収集ボランティア団体からコレクターなどに売られて換金され、売上金が福祉活動に活用されます。お問い合わせは、福井県生協連合会 事務局まで。

福井県県民安全課との懇談会を行いました

日時 8月7日(金) 10時30分～

会場 福井県民生協 本部センター

出席者 【福 井 県】 福井県 安全環境部県民安全課 吉田裕保(課長)
 【生協連合会】 竹生正人会長理事、紙屋敏夫副会長理事、
 黒崎文夫副会長理事、織田 良専務理事、田中光顕理事、
 松宮幹雄 理事、清水政宏理事、嶋崎邦彦理事、佐野 誠 監事



福井県生協連では、生協担当課である福井県安全環境部県民安全課との懇談会を毎年1回開催しています。

県民安全課から吉田裕保課長を迎え、消費者支援対策、第2次消費者教育推進計画の目標や重点項目、啓発活動についてお話しいただきました。福井県消費生活センターに寄せられる相談では、通信販売に関するものが全体の約3割を占め、中でも「定期購入」に関する相談が増えていることや、深刻な内容ではないが新型コロナウイルス感染症関連の相談が増えていることが報告されました。消費者教育については、集合形式での活動がしにくい状況下におい

て、新聞掲載等を活用しながら啓発活動に取り組んでいることが説明されました。

会員生協からは各生協の事業・活動を説明し、生協への理解を深めていただきました。また、今年度の生協指導検査について、スケジュールなどを確認しました。

今回の懇談会においても、活発な意見交換がなされ、消費者教育推進や消費者支援について、生協の果たす役割を再認識、今後の連携をさらに密にし協力していくことを確認しました。

KC's NEWSより活動紹介



適格消費者団体 特定非営利活動法人 消費者支援機構関西(略称KC's:ケーシーズ)は、消費者が安心して生活できる社会を実現するため、不当な勧誘行為や不当条項の契約書など事業者の不当な行為に対して中止を申し入れたり、差し止め請求権を行使(裁判をおこす)できる組織です。福井県生協連はKC'sの団体正会員としてKC'sの活動を支援しています。



興和株式会社への「カンゾコーワドリンク」「カンゾコーワ粒」の表示の差止めを求める「申入書」に対して回答が届きました。

KC'sは、興和株式会社が提供する「カンゾコーワ」「カンゾコーワ粒」(以下、「カンゾコーワ」といいます)の商品容器・包材における表示、カンゾコーワのテレビCMやウェブサイトにおける表示(以下、「各表示」といいます)が、不当景品類及び不当表示防止法(景品表示法)に反し不当と思われる点があると判断し、各表示の差止めを求める申入書を2020年9月3日付けで送付しましたが、2020年10月1日付けで、同社から回答が届きました。

◆KC'sの申入書事項の概要

各表示を見た消費者は、カンゾコーワには、アルコールを分解する、二日酔いを防止・緩和するといった効果・効能があると誤認する可能性が高い。

各表示は、カンゾコーワについて、実際には、アルコールを分解する、二日酔いを防止・緩和するといった

効果・効能が無いにもかかわらず、一般消費者にそうした効果・効能があると思わせるものであり、「実際のもの…よりも著しく優良であると誤認される表示」(不当景品類及び不当表示防止法30条1項1号)に該当する。

◇興和株式会社の回答

カンゾコーワの商品ラベル・包装・販促資材等で飲酒による身体へのダメージを想起させる表現やアルコール飲料等の描写を一切行っていないこと、アルコールを分解する・二日酔いを防止・緩和する効果効能など医薬品的な作用を期待させない配慮をしており、各表示は、不当景品類及び不当表示防止法30条1項1号の優良誤認表示に該当し難い。

しかしながら、指摘を真摯に受け止め、商品ラベル・包装や販促資材等の変更について検討を進める。

第62回 福井県労働者共済生活協同組合

通常総代会を開催しました

「第62回福井県労働者共済生活協同組合通常総代会」が7月28日(火)に武生商工会議所で開催され、すべての議案が承認されました。2019年度(2020年5月31日時点)の事業状況は以下のとおりです。

1. 事業概況 ※総合(慶弔)共済事業	2. 組合員数および組合員 出資金額
(1) 加入状況 36,399件 263,357口	(1) 組合員数 93,608人
(2) 給付状況 1,749件 24,437,500円	(2) 出資金額 609,221,800円

月日
2020年7月28日(火)
13:30～
会場
武生商工会議所
3階パレットホール



通常総代会終了後、「こくみん共済coop福井推進本部第3回組合員代表者会議」が開催され、2019年度活動報告および2020年度活動計画などの全議案が承認されました。

2020年度事業推進活動の基本方針として、組合員から選ばれ続ける「こくみん共済coop」の実現に向けて、組合員・協力団体・共済代理店への「お役立ち発想」と「共創活動」を常に意識し、組合員に寄り添う「総お役立ち活動」の実践と重点共済の推進活動に取り組んでいきます。

社会課題への取り組みについて

こくみん共済coopでは、「みんなが安心して暮らせる社会づくり」の実現に向けて、さまざまな社会課題に対する取り組みをおこなっています。2019年度(2020年5月末)における取り組み状況は以下のとおりです。

- 健康維持促進に向けたサポートサービス「健康点検サービス」の展開
- 児童館などへのなわとび、長なわを寄贈する「子供の成長応援プロジェクト」の展開
 これまでの寄贈状況 全国:約21,000本 福井推進本部:430本
- 子供たちの安全を守る「7歳の交通安全プロジェクト」の展開
 これまでの寄贈状況 全国:約195,000本 福井推進本部:1,150本